

ChatGPT 学生向けメッセージ

令和5年6月20日

学生各位

神戸常盤大学
神戸常盤大学短期大学部

【生成系 AI (ChatGPT 等) に関する本学の考え方】

AI 技術の進歩は迅速で、その影響は日常生活から職場まで広範に及んでいます。生成系 AI はその中でも特に注目を浴びており、ChatGPT などが無料で提供されています。これらは自然言語処理技術を利用し、文章の生成や言語の翻訳など多様なタスクに利用可能です。しかし、その進化により人間の仕事が奪われる懸念も生じています。教育分野に与える影響も大きく、世界中の教育機関でもさまざまな対応が取られています。国内の大学でも、多くの大学がその対応を模索しています。

生成系 AI に関して、神戸常盤大学は以下のように考えます。本学は「医療と教育」を専門とする大学です。AI 技術はすでに医療分野で活用が模索されており、画像診断や創薬など多くの分野での成果が期待されています。また教育分野でも、デジタル端末に蓄積される膨大な学修データの分析に AI を活用することで、データに基づく教育の質の向上を目指す動きがあります。いずれの分野においても AI は「道具」であり、どのような使い方をするかによって、その効果はプラスにもマイナスにもなり得えます。

よって、本学では生成系 AI (ChatGPT 等) の使用を一律に禁止するのではなく、特性をよく理解した上で、効果的に活用する方法を模索することが望ましいと考えています。

ただし生成系 AI を活用するにあたっては、留意すべき点がいくつかあります。それらについて以下に説明いたします。

【ChatGPT 等の生成系 AI 活用にあたっての留意点】

(1) 課題やレポート、論文等の作成

ChatGPT 等の生成系 AI で作成した課題やレポート、論文等をそのまま提出することは、剽窃とみなされ不正行為と認定される可能性があります。(いわゆるコピペ等を判定するツールがあるように、AI が生成した文章を判定するツールも開発されています。) 何より、学生の皆さんにとっては、課題やレポート、論文等を作成する過程に学びがあるの

であり、単に成果物を生成するだけでは学びは深化しません。

なお、本学では定期試験におけるレポート提出に関して、以下のように定めています。注意してください。

ChatGPT などの生成 AI からの出力を、そのまま提出者自身が作成したレポートとすることは認めません。なお、上記の行為が確認された場合は、不正行為と見なすことがあります。

(2) 生成される情報の信頼性

ChatGPT 等は誤った内容が含まれた文章を、綺麗な文章で生成することがあります。このことは、各生成系 AI のサイトでも警告しています。つまり、生成した文章が常に正しいとは限らないのです。それだけに、生成系 AI が生成した文章を使うには、まず内容が正確であるかを確認（いわゆるファクトチェック）する必要がある、それには高度な専門性が求められます。こうした限界を理解しておくことが大切です。

(3) 情報セキュリティ

生成系 AI に質問する際、個人的な情報や様々な機密情報、他者の個人情報などを入力した場合、それがシステム改善のためのデータとして使用される可能性があることを知っておく必要があります。なお、システム改善のためのデータ使用を制限できる設定が可能な場合もあります。必要に応じてそうした設定をすることも大切です。

(4) 著作権等への配慮

AI の機械学習には、インターネット上の膨大な情報が使われています。それは、他者が著作権を持つ情報でもあるので、生成された文章が他者の権利を侵していないことが保障されていません。そういった点にも配慮が必要です。

(5) 情報検索のツールではないこと

生成系 AI は、情報検索を目的としたツールではありません。そうした目的で使用した場合、誤った情報を含む文章が出力される可能性が高くなります。情報検索には、Google などの検索エンジンが適しています。

AI 技術は日進月歩です。今後の動向によって、上記の内容を変更することを想定しています。あくまでも、現時点における暫定的なものであると理解してください。文部科学省も、「ChatGPT の教育現場での活用に関する指針」の検討に着手しました。本学においても、効果的な活用に関する検討を継続して進めていきます。